

社会福祉法人「JAいずも福祉会」平成27年度 本部事業報告

1. 基本報告

地域に認められ開かれた福祉施設運営の実現を目標に、地域福祉の増進に寄与するため社会福祉法人「JAいずも福祉会」は組織強化をさらに進め、社会福祉法人としての社会的責務を果たすと共に、地域に根ざした公益性の高い事業・福祉施設の運営に取り組みました。

平成11年に設立以来、満17年が過ぎJAいずも福祉会の4施設がともに情報を共有しながら広域的・有機的に機能する運営組織として利用拡大に取り組みました。しかしながら27年度も介護保険制度の減額改訂、介護職員処遇改善制度改正や労働環境整備、職場研修等によるサービスの質の向上、経費の節減など継続的安定的な事業運営に取り組みましたが、新規事業者の進出や、既存事業者の施設拡充等競合も激化する中、前年を若干下回る状況となりました。

全事業利用者数は、237.5人減少の87,716人、事業収入は636,628千円と4,111千円減少しました。

サービス活動増減差額は前年度より5,460千円少ない65,685千円の実績となりました。

2. 主な事業実施事項

- ① 社会福祉法人「JAいずも福祉会」の組織強化及び情報開示の徹底
- ② 人事労務の管理及び運営に関する調査研究
- ③ 地域内社会福祉法人およびボランティア組織との連携
- ④ 関係機関・諸団体と施設との連絡調整と強化
- ⑤ 出雲市南部福祉センターおよび出雲市湖陵デイサービスセンターの出雲市からの譲渡について検討
- ⑥ 役職員の資質の向上
- ⑦ 職員研修の実施
- ⑧ 教育広報活動
- ⑨ 職員の新規採用（必要な場合）

3. 事業実施内容

① 役員会の開催

社会福祉法人「JAいずも福祉会」の定款の定めるところにより、理事会・評議員会・監事会を開催しました。

理事会 年 6回

評議員会 年 5回

監事会 年11回（理事会・監査・研修含む）

②施設長会の開催

施設長会議を定期的に行い、情報交換、運営に当たっての月次決算協議を行い、事業所間の連携強化を図りました。

③社会福祉法人「JAいずも福祉会」の組織強化及び体制整備

役員会を開催し、法人の組織強化及び体制整備を随時行いました。

④社会福祉施設の運営に関する調査研究および運営の充実

運営計画・入所者の処遇等施設における運営管理の為の調査研究を行いました。

⑤関係機関・諸団体と施設との連絡調整と強化

社会福祉法人「JAいずも福祉会」の目的達成のための情報の交換および収集を行うために、関係機関（市、社会福祉協議会等）・諸団体と施設との連絡調整を実施しました。

⑥役職員の資質の向上

施設運営をより効果的に発展させるため、役職員の連携と資質向上を目的とした内部研修の充実を図り、各種研究会に積極的に参加しました。

事業ごとの各種研修に参加するとともに、施設ごとの施設内教育研修のほか、法人全体研修会第1回を11月24日、27日、第2回を2月23日、26日に実施しました。（別途、マイナンバーとストレスチェック研修を9/14 9/16に実施する）

第1回が「社会福祉法人のコンプライアンスについて」の研修実施。

「法令遵守に関する留意事項について」

「コンプライアンス違反事例と発生要因等」

第2回が「質の向上は良好なコミュニケーションから！！」の研修実施。

「28年度福祉介護職員処遇改善計画について」

また、みどりの郷合同交流会を開催については、9月の研修増に伴い施設間の交流会は中止した。

（各施設の研修内容は、施設報告書に記載。）

更に、短期の施設間研修も適宜可能な施設にて実施しました。

⑦教育広報活動

全国経営協「情報公開ページ、JAしまね出雲地区本部ホームページ」への公開をはじめ、各施設閲覧資料設置をしました。

⑧地域およびボランティア組織との連携・支援

地元地域の「ボランティア組織の方」や「やすらぎ会」等の組織との結びつきを強化し、交流の促進により利用者への福祉サービスの向上に努めました。

⑨職員の新規採用（正規登用）

正規職員登用試験を、27年12月に実施しました。